

2/1

郷土資料館で小学生が昔の生活を学習

愛南町の歴史や昔の生活様式、道具などを知ってもらおうと、一本松郷土資料館で小学3年生を対象とした学習会があり、柏小学校と家串小学校の児童7人が参加しました。

町教育委員会生涯学習課の松本安紀彦^{あきひこ}さんが講師を務め、同資料館に展示されている生活道具について説明を行いました。

参加した柏小の生徒は、「歴史に興味を持つことができたと話しました。」



▲昔使われていた農具について説明を受ける柏・家串小の児童

2/10

柏小児童がオンラインでかんきつ栽培を学習

柏小学校で3・4年生を対象とした「かんきつ学習会」(町農業支援センター主催)があり、12人の児童がオンラインで河内晩柑^{かわちばんかん}の栽培などについて学びました。

この日は柏小の教室と緑地区の吉田農園をつなぎ、同社の社長らが愛南町は日本一の河内晩柑の産地であることなどを説明しました。

参加した生徒は、「どれくらいの量を収穫しているか知れて良かった」と感想を述べました。



▲柏小の教室と緑地区の吉田農園をオンラインでつないだ学習会



愛媛CATV
動画

2/16

南高地域振興研究部の活動が優秀賞を受賞

松山市のテクノプラザ愛媛で「えひめ地域づくりアワード・ユース2020」(公益財団法人えひめ地域政策研究センター主催)の最終選考があり、南宇和高校地域振興研究部(部員10人)が21校27団体の中から最優秀賞に次ぐ優秀賞を受賞しました。

参加した1年生は、「優秀賞を受賞できて良かった。今後は東京五輪・パラに向けて、選手に食材が提供できるように頑張っていきたい」と話しました。



▲優秀賞を受賞した南宇和高校地域振興研究部の皆さん



愛媛CATV
動画

2/19

持続可能な社会を考える「ほりだしもん市」

プラザじょうへんで愛南町ボランティア連絡会の主催による「SDGsほりだしもん市」が開催されました。

コロナ禍で毎年行われてきた「げんき市」が中止となり、その代わりにイベントとして企画されました。

平成27年の国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の国際目標の一つである「持続可能な消費と生産」の理念に共感し、衣類や食器などのリサイクル品や花苗などが販売されました。



▲プラザじょうへんでのリサイクル品の販売の様子



▲今年度取り組んだ活動に関係者に報告する南宇和高校の生徒

町内の産学官で組織する「南宇和高等学校教育振興協議会」の令和2年度活動報告会が南宇和高校であり、同校の1・2年生延べ17人が今年度取り組んだ地域活性化に係る活動に関係者に報告しました。

中止された海外研修に参加予定であった生徒は、町の基幹産業である農林水産業や観光業について英語で発表したほか、台湾国立中山大学とのオンライン文化交流や、地域振興研究部による観光産業に関する報告が行われました。

2/22



愛媛CATV
動画

南高生が地域活性化に係る取り組みを報告



▲実験で使用した水産生物に感謝し、献花を行う学生や教職員

役場西海支所で「愛媛大学南予水産研究センター魚介類供養祭」が行われ、愛媛大学の学生や教職員ら約40人が出席し、献花などが行われました。

この供養祭は、日頃実験に供している魚や貝などの水産生物の命に感謝し、地域の海を豊かにすることを目的としており、愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション（うみらいく愛南）に供養碑を建て、昨年度から行われています。

2/26



愛媛CATV
動画

海の命に畏敬と感謝を込めた供養祭



▲体育館ステージで行われた南宇和高校吹奏楽部の定期演奏会

南宇和高校の文化部の活動を幅広く知ってもらい、活動の活性化や生徒の意欲向上につなげようと、同校体育館で「南光フェスティバル2021」（南宇和高校主催）が開催されました。

吹奏楽部による定期演奏会では、現部員と卒業生による南宇和高校校歌や往年のヒット曲をアレンジした「日本を勇気づける名曲メドレー」などが披露されたほか、美術部・書道部・写真部による作品展示も行われました。

3/6



愛媛CATV
動画

南高文化部の活動披露 南光フェスティバル



▲贈呈品を手にする實好礼忠コーチ(左)と清水雅文町長(中央)、和泉茂徳監督(右)

今シーズンから愛媛FCトップチームの監督を南宇和高校出身の和泉茂徳しげなりさんが、同じくコーチを同校出身の實好礼忠たけのりさんが務めています。愛南町ではこれを機にチームを町ぐるみで応援しようと、松山市銀天街の「街の駅みしようMIC」で、清水雅文まさひこ町長が和泉監督と實好コーチに町特産品の愛南マダイと愛南ゴールドを贈呈しました。

和泉監督は「来年以降J1を目指せるようなチームになるようながんばりタイ!!」と意気込みを語りました。

3/10

愛媛FCを愛南マダイと愛南ゴールドで応援

「令和2年度愛媛県政発足記念日知事表彰」

県では、昭和48年（昭和47年度）2月20日に愛媛県設置満100年を記念して2月20日を県政発足記念日と定め、以来、毎年この日に合わせて県行政の振興に顕著な功績があった方々を表彰しています。

「令和2年度愛媛県政発足記念日知事表彰」の社会福祉部門において、2月20日付けで愛南町戦没者遺族会顧問（一般財団法人愛媛県遺族会元理事）の和泉三千代さんが表彰を受けました。

和泉さんは昭和52年4月から町（旧城辺町）戦没者遺族会会員として会員相互の親睦や連携強化に努め、平成25年4月からの4年間は愛南町戦没者遺族会会長として戦没者遺族の援護活動等に尽力してきました。

また、現在も厚生労働省からの委託を受けて

戦没者遺族相談員を務め、会員に対して特別弔慰金に係る申請手続きの支援などを行っています。

今回の受賞を受けて和泉さんは、「戦没者である父への慰霊の気持ちで遺族会の活動に誠心誠意取り組んできたが、今回身に余る賞を頂いて光栄に思う」と喜びを語りました。

なお、町内からは和泉さんの他にも、一般社団法人愛媛県医師会理事の水野伸二さんが保健衛生部門で、一般社団法人愛媛県建設業協会理事の羽田保恵さんが建設部門でそれぞれ知事表彰を受賞しました。



▲和泉三千代さん

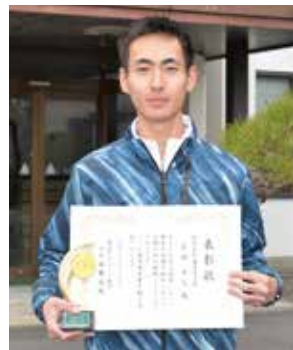
個人15人・1団体(10人)が
「令和2年度愛南町スポーツ協会表彰」受賞

令和2年度にスポーツの各種目において優秀な成績を収めた個人15人・1団体(10人)が、愛南町スポーツ協会から表彰を受けました。

この表彰は、愛南町のスポーツ振興に顕著な功績があった個人および団体を表彰してその栄誉をたたえるとともに、本町のスポーツ活動の発展に資することを目的に平成20年度から実施されています。

受賞者の一人、宇和島東高等学校を今春卒業した宮岡幸大さん（一本松中出身）は、「今年1年間はコロナの影響で大会が少なかったが、そういった状況の中でしっかりと成績を残せて、表彰していただけるのがうれしい」と感想を述べました。

4月からは関東の大学に進学して陸上競技を続ける宮岡さんは今後の目標について、「学生の中でもトップレベルで勝負できる選手を目指したい」と力強く語りました。



▲宮岡幸大さん

表彰種類	種目	氏名	所属 (学校・学年)
優秀選手賞	ソフトテニス	岡原 梓実	篠山小3年
		蕨岡 凜	篠山小3年
		木下 きこ	篠山小4年
		岡崎 心愛	篠山小4年
		西村 世汝	宿毛市立松田川小5年
		山崎 史帆里	宿毛市立咸陽小5年
		尾崎 健人	篠山小6年
		毛利 航太	篠山中2年
		植松 奏多	篠山中2年
		山本 彩羽	篠山中2年
		岡原 羽栴	篠山中2年
	相撲	福原 丈一朗	御荘中2年
陸上	谷口 海音	城辺中2年	
特別表彰 (優秀選手賞)	陸上	秋場 瑚百	南宇和高2年
		宮岡 幸大	宇和島東高3年
優秀団体賞	剣道	城辺中学校男子剣道部 3年：宮崎 央哉、大森 伯、松岡 柚太郎 2年：清水 祐成、菊池 康聖、浦川 隼、 児島 武尊、竹田 千紘、西田 拓実 1年：二神 彰希翔	

※記事中の児童生徒の学年は取材時(令和2年度)を基準に掲載しています。